

公益財団法人 益富地学会館
令和 3 年度事業報告書
(自令和 3 年 4 月 1 日 至令和 4 年 3 月 31 日)

[公益目的事業]

公 1 地学関連資料を展示する博物館の運営と地学の振興を目的とする啓発活動および教育普及活動

(1) 趣旨 (目的)

地学及び地球科学の振興を目的として、博物館類似施設の運営とそれに付帯する普及活動や研究を行う。具体的には、鉱物、岩石、化石など地学に関連する標本及び文献等を収集、整理、分類し一般に展示公開する。また、一般を対象とした印刷物等の出版や講座の実施、教育普及活動、研究奨励、インターネットを利用した情報の発信、各地の博物館、学校、教育施設等に対する支援事業を行うことを通じて地学の振興を目指す。

(2) 事業内容

ア 博物館の運営

【標本展示室の公開】

事業内容：益富地学会館の 3 階を鉱物、岩石、化石や地球科学に関する資料の展示室として、広く一般に公開。公開は、土曜日・日曜日・祝日の午前 10 時から午後 4 時まで、公開時間中は展示室指導員が常駐し、見学者の相談・指導にあたる。展示室の見学料は一般 300 円、18 歳以下は無料。令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日 (5 月は新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言発令のために休館) に入館者は約 2100 名(有料入館者のべ 1107 名)。

企画展示『日本列島最古の岩石』、『球状の岩石・ナンダモンダ』(令和 3 年 5 月 1 日～)、『第 29 回益富地学賞受賞作品展』(令和 4 年 1 月～3 月) を実施。

【当館所蔵標本の整理、分類】

事業内容：鉱物、岩石、化石等、地学に関連する標本を収集、分類、整理し、研究ならびに教育・普及に役立てる。収集した資料は益富地学会館の収蔵室で保管し、その一部については益富地学会館 3 階の展示室で一般に展示公開。

【図書及び文献の整理、分類】

事業内容：地学や地球科学に関連する図書および文献全般を対象に収集、分類、整理し、研究ならびに教育・普及に役立てる。収集した資料は、益富地学会館 2 階の図書室ならびに研究室に収蔵して公開。

【地学に関する調査ならびに研究】

事業内容：収集した鉱物、岩石、化石その他の資料を活用し、地学に関する調査や研究を行う。研究には主に益富地学会館の設備、器具、分析機器を活用し、当法人が地学の振興を目的として発行する啓発誌 (『益富地学会館館報』、『地学研究』)、学会誌、学会発表などの場で広く一般に公表した。

<論文等>

渡辺克典・石橋 隆・伊藤謙ほか (2021) : 大阪府八尾市顕証寺所蔵の寺宝『大蛇骨』(シヤチ頭骨). 地学研究, Vol. 67(1), 1-10, 日本地学研究会.

イ 地学に関する知識の普及や啓発を目的とした事業

【講座や研修会等の開催】

事業内容：地学の振興を目的として、次の教育普及事業を実施。

(a) 講座・セミナー等

1. 地学講座

令和4年1月16日(日)、『石ふしぎゼミ』、於、京都市勧業館・みやこめっせ。参加者80名。

令和4年3月27日(日)、『京都市大文字山・如意ヶ岳地学観察会・事前講習会』、於、益富地学会館。参加者：27名

2. 石を楽しむ新春交流会

令和4年1月16日(日)、於 京都市勧業館・みやこめっせ 特別展示場・大会議室
講演：『日本産新鉱物・新産鉱物 2022 新春：松原聡博士』

3. 地学サロン

令和3年12月5日(日)、於、益富地学会館。参加者：25名

令和4年2月6日(日)、於、益富地学会館。参加者：30名

(b) 野外活動や実地調査・作業に重点をおいた体験型の研修会

1. 野外研修会

令和3年4月11日(日)、『大阪府秦野鉱山鉱物観察会』、参加者35名。

令和3年6月6日(日)、『桂川でかわらの石観察研究会』、参加者83名。

令和3年8月9日(日)、『大阪府岸和田で大阪層群の地層と鉱物観察会』、参加者36名。

令和3年9月5日(日)、『和歌山県有田市の地ノ島で海岸の石観察会』、参加者27名。

令和3年10月24日(日)、『滋賀県野洲川で岩石観察会』、参加者89名。

2. 岩石薄片教室

令和3年7月23日(金・祝)、『偏光顕微鏡の見方教室』、於、益富地学会館、参加者6名。

令和3年7月24日(土)・25日(日)、『岩石薄片教室』、於、益富地学会館、参加者12名。

3. 化石クリーニング教室

2月12日に計画していたが、新型コロナウイルス感染症予防のために中止し、令和4年度行事として4月10日に延期した。

(c) 地学巡検旅行

新型コロナウイルス感染症予防のために中止した。

【青少年を対象とした地学教育普及活動】

事業内容：夏休みの期間中などにおいて、児童や生徒、青少年を対象とした講座や教育普及活動を実施。

(a)石に名前をつける会。小中学生対象の石に関する『夏休み自由研究』の指導等。

令和3年8月8日(日)、於、益富地学会館、参加者24名。

【地学に関する普及啓発事業】

事業内容:主に博物館を利用する一般の方を対象に、地学の知識習得の機会を拡充し、地学の振興に資することで公益に寄与することを目的として、次の事業を実施。

(a)『益富地学会館 館報』の発行

毎月1日発行。内容は当館の行事案内、入手標本・図書等の解説・紹介、行事記録、地学関連ニュースの解説、地学解説記事など。発行部数500部。各地の博物館や研究機関、マスコミ、益富地学会館会員などに送付した。

(b)益富地学会館 web サイトの運営

広く一般に対して地学に関する有用な情報を提供することを目的にホームページを設け運用を行う。当館の紹介、行事案内、地学に関する情報を提供した。

(c)その他の普及啓発事業

当博物館の事業に関心のある者は会員登録を行うことにより、当博物館が実施する地学普及事業等を利用しやすくなる事業を実施。会員登録については、制限がなく、希望者は規定の年会費で誰でも登録可能である。年会費は、一般会員6,000円、特別会員10,000円、ジュニア会員(満18歳未満):3,000円、家族会員:1名1,000円。会員には『益富地学会館 館報』が送付されるほか、益富地学会館の入館料免除、施設利用やイベント参加費用の割引などのサービスを実施。

令和3年度末現在、一般会員487名、特別会員53名、ジュニア会員19名。

ウ 博物館・学校・教育施設等に対する支援

事業内容:各地の博物館、学校、教育施設等に対して、必要な援助・協力を実施する。新型コロナウイルス感染症予防のために、例年の協力事業が中止された。

エ 鉱物・岩石・化石等の鑑定

事業内容:鉱物、岩石、化石等の標本を鑑定する。肉眼鑑定のほか、必要があれば顕微鏡を用いた観察、X線粉末回折装置、走査型電子顕微鏡(SEM)及びエネルギー分散型X線電子銃(EDS)を用いた分析を行い、機器分析や試料の調整を要する場合は費用を徴収した。

令和3年4月1日～令和4年3月31日の、肉眼鑑定・分析等・相談件数は約300件。

オ 地学に関する研究奨励事業

【益富地学賞】

事業内容:地学や地球科学に関する研究の奨励を目的として『益富地学賞』を贈呈した。研究部門・標本部門・写真部門・『地学研究』論文部門・産経新聞特別賞を設け、それぞれの部門について表彰した。

当年度は、全部門に総計34点の応募があり、令和3年12月18日の審査委員会により、応募研究の中から11点が受賞した。

研究部門:優秀賞『犀川の川原で見つけたサメの歯化石とクジラの骨化石～金沢市大桑町貝がら橋付近にて～』猪谷和磨(副賞3万円)、科学奨励賞2名(副賞ハンマー)、標本部門:佳作1名、写真部門:優秀賞1名(副賞1万円)、佳作3名、『地学研究』論文賞2名、産経新聞特別賞1名。

【『地学研究』の発行】

事業内容：地学の振興や研究の奨励を目的として、研究発表誌『地学研究』を2回発行した。

第67巻1号（総頁数64頁）。第67号2号（総頁数64頁）。発行部数各450部。

日本地学研究会会員・地学関係教育機関等へ頒布。

【その他の研究奨励事業】

(a) 日本地学研究会の運営

事業内容：地学および地球科学に関する研究の奨励と、地学に関する研究を志す者への支援を目的とする。会員は当法人が発行する研究発表雑誌『地学研究』誌上で研究成果等の発表を行うことができる。年会費は一般会員：8,000円、団体会員：10,000円。益富地学会館展示室への入館料免除、イベント参加費用割引、分析依頼費用割引などのサービスがある。令和3年度末現在の会員数293名(内団体会員8団体)。

カ 鉱物鑑定検定と鉱物鑑定士の認定

次の事業は、鉱物に関する知識や、鉱物の鑑定能力を向上させることを目的とした事業であり、共通の目的を達成する手段と位置付けられる。

【鉱物鑑定検定の実施】

(a) 令和3年4月25・26日：3級・4級・5級・6級・7級・8級

大阪会場（石ふしぎ大発見展・第27回大阪ミネラルショー）で実施。

3級：受検者なし、4級：受検者1名、合格者なし。

5級：受検者4名、合格者3名。6級：受検者4名、合格者3名。

7級：受検者12名、合格者11名。8級：受検者25名、合格者25名。

(b) 令和3年8月29日：3級・4級・5級・6級・7級・8級

名古屋会場（第43回名古屋ミネラルショー）で実施。

3級：受検者1名、合格者なし。4級：受検者3名、合格者2名。

5級：受検者1名、合格者1名。6級：受検者4名、合格者1名。

7級：受検者6名、合格者5名。8級：受検者12名、合格者12名。

(c) 令和3年12月12日：3級・4級・5級・6級・7級・8級

東京会場（第30回東京ミネラルショー）で実施。

3級：受検者3名、合格者1名。4級：受検者1名、合格者なし。

5級：受検者4名、合格者1名。6級：受検者14名、合格者3名。

7級：受検者37名、合格者31名。8級：受検者68名、合格者67名。

【鉱物鑑定士及び鉱物鑑定士補の認定】

鉱物に関する知識の普及や野外活動の講師など、指導者の養成を目的として、鉱物鑑定士及び鉱物鑑定士補の認定制度を設ける。

(a) 認定資格・認定基準：鉱物鑑定士は、鉱物鑑定検定の1級から3級までに合格し、定められた基準に達し、定められた認定料を納めたものに当法人が認定した。鉱物鑑定士補は、鉱物鑑定検定の4級から9級の合格者で、認定料を納めた者について当法人が認定した。ただし、8級・9級については認定料を無料とする。

令和3年度の認定者数は、3級1名、4級1名、5級4名、6級4名、7級18名、8級104名、9級1名。

令和3年度までの総認定者数は、1級6名、2級6名、3級43名、4級30名、5級45名、6級95名、7級397名、8級1391名、9級63名。

(b) 認定料：別に定めた料金表に従い、認定料を徴収した。

【講習会及び研修会の開催】

事業内容

(a) 鉱物鑑定検定（6級～8級）の前に、鑑定の技能向上の為の講習会を実施。

【鉱物鑑定に関する知識の普及】（ストーンサークルの発行）

事業内容：鉱物鑑定士制度の普及を図ることや、鉱物鑑定に関する知識を広げることが目的として、情報誌『ストーンサークル』を2回発行。配布対象は主に鉱物鑑定検定受検者で、無料で送付。

公2 地学の振興を目的とする鉱物、岩石、化石等の展示会の実施

(1) 趣旨（目的）

地学の振興を目的として、“石”をテーマとした『石ふしぎ大発見展』と称する展示会を開催した。この目標を達するため、次の一連の事業は、目的を達成する手段と位置付けられる。

(2) 事業内容

広く一般に地学や地球科学の魅力、楽しさ、重要性、知識を普及するには、鉱物や化石などの実物に実際に触れる機会を設けることが最も効果的と考え、この展示会の目的や趣旨に賛同する出展者を募り、国内外より鉱物や化石などの実物を一堂に集め展示する。毎回テーマを変えた特別展示企画、専門家による講演会、地学に関連した体験型のイベントなどを実施する。

1. タイトル：石ふしぎ大発見展 2021・第27回大阪ミネラルショー

開催日時：令和3年4月24日(土)～26日(月)、10時～18時（最終日は16時）

会場：大阪天満橋 OMMビル2F

入場料：700円（1人1日、中学生以下無料）

ア 特別展示

事業内容：『日本列島“石”ふしぎ発見』

日本列島の成り立ちや、地質を知るうえで重要な岩石・鉱物・古生物化石などを展示した。

入場は無料。特別展示入場者のべ約500人。

イ 学術講演会

新型コロナウイルス感染予防のため中止した。

ウ イベント

新型コロナウイルス感染予防のため中止した。

エ 鉱物・岩石無料鑑定会

事業内容：鉱物・岩石標本などの無料鑑定会を行う。

鑑定費用は無料。参加者30名。

オ 鉱物・岩石・化石などの出展者展示コーナーの運営

この事業の目的である、広く一般に地学や地球科学の魅力、楽しさ、重要性、知識を

普及するために、鉱物や化石などの実物を実際に触れる機会を設けるという趣旨に賛同する出展者が展示するコーナーを運営した。会場を借り、休憩所、通路、照明など展示会のインフラ整備を行い、また、必要に応じて警備員や運営スタッフを配置した。

なお、展示コーナーの一部（総床面積の概ね3割程度のスペース）は、この展示会の趣旨に賛同する出展者に対して席貸し、出展料を徴収しているが、当該取組は展示会事業をはじめ当法人が行う公益目的事業を行うための財源を確保するための収益事業（収2事業）として整理している。この催し全体の総入場者のべ約2950人。

カ パンフレット・展示解説の配布

事業内容:特別展示の展示解説や会場案内などを掲載したパンフレットを来場者に配布。フルカラー24頁。発行部数6000部。

2. タイトル:石ふしぎ大発見展2021・第33回京都ミネラルショー

開催日時:令和3年10月9日(土)~11日(月)、10時~18時(最終日は16時)

会場:京都市勧業館・みやこめっせ 第2・第3展示場(京都市左京区岡崎公園)

入場料:700円(1人1日、中学生以下無料)

ア 特別展示

事業内容:『日本の金属資源と鉱物』

日本国内で産出した資源鉱物を展示し、資源としての重要性や、日本列島の成因にかかわる地質学的な重要性を見学者にアピールした。

入場は無料。特別展示入場者のべ約1000人。

イ 学術講演会

新型コロナウイルス感染予防のため中止した。

ウ イベント

新型コロナウイルス感染予防のため中止した。

エ 鉱物・岩石無料鑑定会

事業内容:鉱物・岩石標本などの無料鑑定会を行う。

鑑定費用は無料。参加者100名。

オ 鉱物・岩石・化石などの出展者展示コーナーの運営

この事業の目的である、広く一般に地学や地球科学の魅力、楽しさ、重要性、知識を普及するために、鉱物や化石などの実物を実際に触れる機会を設けるという趣旨に賛同する出展者が展示するコーナーを運営した。会場を借り、休憩所、通路、照明など展示会のインフラ整備を行い、また、必要に応じて警備員や運営スタッフを配置した。

なお、展示コーナーの一部（総床面積の概ね3割程度のスペース）は、この展示会の趣旨に賛同する出展者に対して席貸し、出展料を徴収しているが、当該取組は展示会事業をはじめ当法人が行う公益目的事業を行うための財源を確保するための収益事業（収2事業）として整理している。この催し全体の総入場者のべ約5020人。

カ パンフレット・展示解説の配布

事業内容:特別展示の展示解説や会場案内などを掲載したパンフレットを来場者に配布。フルカラー24頁。発行部数6000部。

[収益事業]

収 1 施設利用者の便宜を図る物品販売等の利用サービス促進事業

(1) 趣旨（目的）

益富地学会館 1 階のミュージアムショップ等で、一般的な店舗では販売していない野外活動用品や研究・観察用具・地学関連書籍等を販売し、当会館の利用者に便宜を図ると共に、公益事業の財源にあてる収益を得ることを目的とする。

(2) 事業内容

売店等で観察用品、野外活動用品、書籍、地学標本等、地学関連商品の販売を実施。サービス提供の対象者は特に限定せず、当施設の利用者のみでなく、インターネットを利用した通信販売も実施した。

(3) 実施方法

ミュージアムショップの運営については、商品の仕入れ、販売など、すべての業務を当法人の職員が行い、業務委託は行っていない。ミュージアムショップの営業時間は、午前 10 時から午後 5 時の間である。

収 2 地学の振興を目的とした展示会における貸席事業

(1) 趣旨（目的）

公 2 事業の展示会、『石ふしぎ大発見展 2021・第 27 回大阪ミネラルショー』及び『石ふしぎ大発見展 2021・第 33 回京都ミネラルショー』において、展示スペースの一部（総床面積の概ね 3 割程度）を小間にし、この展示会の趣旨に賛同する出展者に対して席貸することで、展示会の運営費用の一部と、この法人の公益目的事業等に必要な財源を確保することを目的として実施した。

(2) 事業内容

この法人の公益目的事業として開催する、『石ふしぎ大発見展』において、展示スペースの一部（総床面積の概ね 3 割程度）を小間にし、この展示会の趣旨に賛同する出展者に対して席貸した。出展対象者は特に設けないが、出展物は地学に関するものに限定した。出展料は、小間の大きさや設営に掛かる費用によって徴収した。第 26 回大阪ミネラルショーの出展数 200 件、第 33 回京都ミネラルショーの出展者数 212 件。この展示会において、当法人は展示会全体の運営管理を行っており、警備に関してのみ警備会社に依頼した。

(3) 展示会の概要

(a) 展示会の名称：石ふしぎ大発見展 2021・第 27 回大阪ミネラルショー

・会場：大阪天満橋 OMM ビル 2 階展示ホール（大阪市中央区大手前）

会場の延床面積は 4055 平米

・開催日時：令和 3 年 4 月 24 日(土)～26 日(月)、10 時～18 時（最終日は 16 時）

(b) 展示会の名称：石ふしぎ大発見展 2021・第 33 回京都ミネラルショー

・会場：京都市勧業館・みやこめっせ第 2 展示場（京都市左京区岡崎公園）

会場の延床面積は 3800 平米

・開催日時：令和 3 年 10 月 9 日(土)～11 日(月)、10 時～18 時（最終日は 16 時）

以上